

會 告

(I) 來る昭和四年十月本邦東京に開催の萬國工業會議の委員會に於て主催側各學、協會々員（萬國工業會議員外）の便宜を圖り、同會議部會に出席聽講差問なき旨決議され候得共會場の収容者數に限りあれば整理の都合上傍聽券發行する事と相成候處該券は本會へ幾枚割布相成るや未定に候へ共御希望の方は其旨本協會事務所へ豫め御申越置相成候はゞ受付順を以て呈送可仕候以土此段及謹告候也

(II) 別紙第一の如く明年白耳義に於て開催せらるべき萬國工業博覽會を機とし鐵鋼構造に關する萬國會議の件に付き工學會理事長古市男爵より勸誘狀到着仕候に付き會員諸君の奮て同會へ出席又は論文を提出せられ度く及會告候也

尙ほ白耳義工業聯合會長より古市男爵宛の書翰別紙二の如し

「別紙第一」(本會々長宛)

工學會理事長工學博士 男爵 古市 公 威

拜啓貴會益々御隆昌慶賀の至に存候 然ば明 1930 年白耳義リエージュに催さるべき萬國工業博覽會を機とし同國々王アルベール陛下を總裁とし鐵鋼構造に關する萬國會議を開催する事に決定せる趣にて此度該會議參加に關し添附別紙の通り本會宛勸誘に接し申候

以上會議は本邦に於ける鐵鋼構造に關する研究施設を世界に紹介する絶好の機會と有ぜられ候に付き貴會々員に於ても奮て該會議に論文を提出せらるゝと共に及ぶ限り親しく會議に出席せられ候様御取計を賜度希望の至に不堪候

以上御通知旁御依頼迄得貴意度如此御座候 拜具

追て貴會々員より提出せらるべき論文題目並に會議へ御出席會員の氏名は 10 月 15 日迄に本會宛御通報被下度候

「別紙第二」

リエージュ 1929 年

白耳義工業聯合會 總 長 エル・グルニエー

同 書記長 オー・ベルソヌ

日本 工學會々長 古市公威殿

拜啓 1930 年白耳義國政府後援の下にリエージュに催さるゝ萬國工業博覽會を機とし鐵鋼構造に關する萬國會議開催の事に決定添附書類之通り該會議の行事組織等取極め申候に付一應御覽之上貴國に於ても國內委員會を組織して本會議に参加せらるゝ様御取計を賜はらん事を懇請仕候

實は本會は貴會が貴國に於ける學會及工業團體を赴合せらるゝに最も適當なる團體なるを確信して斯く御依頼申上候次第に付何卒本會の微衷の存ずる處を諒せられ本件に關し充分御協力を賜はらん事を祈り申候 敬具

附記 添附次第書中本會に最も關する 部分次の如し (添附の 次第書は本會に有之候に付御希望の方へは御申越次第送呈可仕候)

1. 鋼の性質
2. 標準型
3. 鋸接及鍛熔接
4. 防錆法

昭和 4 年 7 月

社團法人 日本鐵鋼協會